



発行/生活クラブ生協大阪理事会 編集/広報委員会

茨木市清水1丁目21番4号 TEL 072-641-5547

<https://osaka.seikatsuclub.coop/>

↑WEBサイト

↑Instagram

生産者の話を聞きに行こう

第22回

産直春のつどい

顔が“見える”ってすごい！
“会える”ってもっとすごい！！

3/2

大阪市中央公会堂

参加：179人

(生産者 72、組合員 94、職員 13)

私が一番心に残った話は、伊賀有機の北野さんが話してくれた「喜びを感じる時」。赤玉ねぎを作っている北野さん

第一部では、生産者のアピールタイム。全参加生産者36団体に産地の写真を見ながら凝縮された熱い想いを語っていただきました。組合員からは活動報告をしました。ブロック、専門委員会がそれぞれ寸劇や掲示物を用意して工夫してわたりやすかったです。

第二部はグループに分かれたの交流会。お菓子と飲み物をお供に、テーマに沿って生産者中心で語り合いました。沢山の組合員に参加して、実際に会って話を聞いてほしかったです。

（産直春のつどい実行委員会 神原 詩織）

詳しくはp.4〜5へ

生産者と組合員が一堂に会し、活動を報告しあう「産直春のつどい」を今年も開催しました。全国から来場した36の生産者団体と、組合員が課題を共有し話し合いました。産直春のつどい実行委員の感想を紹介します。

気になりながらも都合がつかずに参加することが出来なかった「産直春のつどい」。初参加のうえ実行委員としての参加で、不安もありましたが、「同窓会」のような雰囲気心が緩みました。

第一部では、生産者のアピールタイム。全参加生産者36団体に産地の写真を見ながら凝縮された熱い想いを語っていただきました。組合員からは活動報告をしました。ブロック、専門委員会がそれぞれ寸劇や掲示物を用意して工夫してわたりやすかったです。

第二部はグループに分かれたの交流会。お菓子と飲み物をお供に、テーマに沿って生産者中心で語り合いました。沢山の組合員に参加して、実際に会って話を聞いてほしかったです。

私が一番心に残った話は、伊賀有機の北野さんが話してくれた「喜びを感じる時」。赤玉ねぎを作っている北野さん

ん。自分も赤玉ねぎが大好きなので、たくさん植えているのを見て「ハネがどのくらい出るだろうか。自分がどのくらい食べられるか」を想像してうれしくなるそうです。「ハネ」売り物にならない」ではない発想。北野さんの赤玉ねぎ愛に、テールがふわっと笑いで和みました。

厳しいお話もたくさんありますが、生産者と話して、消費材の物語を知る事で「食べる約束」がどれだけ大切で、生産者の安心になっているかが分かりました。持ちつ持たれつ、相思相愛の関係であり続けた。そう思えるつどいでした。託児もあります。今回参加できなかった方にも、次回自分たちが選ぶものを作っている人たちに是非会いに来て欲しいです。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 今月の紙面	●活動の報告 地区総会 長尾地区 ポータウン地区 2	●平野支所CO2内部監査 6
	●「よやく・る野菜セット」の産地訪問Vol.2 愛菜会 3	●みんなでたべよう! 「ポークウイナー」 お年玉クイズアンケート結果 7
	●「産直春のつどい」開催報告 4 5	●エコ口共済 Tea Time 「生活と自治」 理事会報告 つぶやき 8

「よやく・る野菜セット」の産地訪問

Vol.2 愛菜会

…2026年2月19日

昨年11月に関西6生協の野菜取り組みが共通化され、私たちにとって新しい野菜生産者が増えました。それぞれの生産地の特徴や生産者の考えを知り交流する、そして野菜をよやく・るで食べることを意味を改めて組合員に伝えようと、関西青果委員会より産地を訪問してきました。



谷井良三さんの畑

食べるカタログの写真で見たり、遠景にマンション群を望む園地。どんなところか行ってみたいと思っていました。伊川谷駅から車で5分、少し高台になっているところでした。6人の生産者が出迎えてくれました。

〈谷井良三さんの畑〉

大根の畝と、ブロッコリーの畝がありました。近くにビニルハウスがあり、その中には、水菜と小松菜、ほうれん草が青々と茂っていました。昔は水菜と言えればはりは鍋のように煮込んで食べる野菜で、大きな株だった記憶があります。今は殆どサラダ系の品種に代わっており、生で食べる野菜になっています。大根は以前は種をばらばらとまき、間引き菜が必ずありましたが、今は種の改良があり、一粒一粒をまき間引き菜も出ないそうです。時代と共に野菜も変わってきています。



ビニルハウス



ブロッコリーの畑→
渋谷晃郎さん↓



ブロッコリーは大きな葉っぱの中にかくれていました。高温で植え付けが遅れ、寒さと雨が少なかったことで生育が遅れています。まだ小さめですが、間もなく出荷です。3月頃からヒヨドリが来るのでそれまでには出荷したいとのことでした。

〈渋谷晃郎さんの畑〉

愛菜会ならではの野菜はあるのかの質問には「俺らは何でも屋や」との回答でした。有機栽培は、多品目を栽培しリスク分散しないと全滅ということがありうるので、効率的ではなくても同じ園地で多品目を作っているとのことでした。

〈作る約束 食べる約束〉

集会所で、JA兵庫六甲の職員も交え作付計画について話しました。以前は出荷量に制限があり、野菜があっても出荷できないというところもあったそうです。昨年11月からは6生協統一の野菜セットに取り組みようになり、本場に作ったものが全部出荷できるのかまだ半信半疑でもあると話されましたが、生活クラブ関西の担当者が、「大丈夫です。計画されたものであればすべて引き取ります」と力強く回答しました。私たちの食べるチカラを信じての回答です。



作付計画の話合い

愛菜会は今までは作付計画や出荷計画は出していなかったのですが、26年度からは、出荷できる計画数を出すよう要請しました。量も増え、カリフラワー、キャベツなど、今年には計画に入っていなかった野菜も作付計画に入りそうです。

年間通して同一価格、栽培期間中は化学合成農薬不使用、無化学肥料。作っている人の顔がわかるだけでなく、生産者も食べる人の顔がわかります。こんな関係を続けていきたいですが、利用し続けなければ、気付いたときには食べられない事態になっているということもあり得ます。市場価格が高い時だけの利用ではなく、誠実に食べていきましょう。

野菜の元気をもらい私たちが元気に健康に過ごしましょう。

(常任理事 小野田郁子)

2025年度 地区総会 今年も各地区で開催しました!



私たちの活動の基本単位である地区は、年度末に毎年地区総会を開催します。その年の活動や会計報告を確認し、次年度の活動について参加組合員で話し合います。また多世代でいろんな情報を交換し、楽しい企画で交流する場ともなっています。組合員には一人一票の議決権があります。あなたも来年は参加して、やってみたい活動を実現してみませんか?

3/5 香里ブロック 長尾地区
参加：6人 菅原生涯学習市民センター

今年度初めて地区委員として活動し、あっという間の1年でした。今年香里ブロックでは「丹精國鶏」、全体では「よやく・る野菜セット」の取り組みで、長尾地区でも夏には「やさしいBOXでのっけ素麺」、冬には「アレンジいろいろ・あったか鍋クッキング」と題して調理と試食を行いました。地区総会では、その報告と改めて野菜セットのアピールもしました。

そのあとは、「バイオサポ食材セット」2種と、鶏ごぼうごはんや総菜の試食会を行いました。参加者からは「買お

おすすめ消費材&バイオサポ食材セット試食会

うと思ったことがないのでカタログを見ても読み飛ばしていたが、試食してみると家でも使ってみたくなった」「すぐ出来て、簡単」という声があり、おおむね好評でした。(田邊美香)



おすすめしたい消費材がいっぱい!



バイオサポ食材セットは簡単調理でおいしい!

3/7 平野ブロック ポートタウン地区
参加：10人 南港ポートタウン管理センター

でんき学習会 ~保温調理でエコなプリン作り~

前半の地区総会では、今年度の活動報告に加え、委員が参加した生産者交流会や産直春のつどいの共有、さらに25年と26年度取り組み消費材「よやく・る野菜セット」を中心に、おいしい食べ方などについて活発な意見交換が行われました。後半のでんき学習会では、自然エネルギー委員会による小ネタ満載の“漫才風紙芝居”で、再エネの仕組みやメリットを楽しく学び、会場内に笑顔が広がりました。



フタつきの鍋にプリン容器を並べて水を張り、沸騰後2分弱火で蒸す。火から下ろして新聞紙とバスタオルで包み20分放置で出来上がり!



でんきについて紙芝居で楽しく学びます。



おしゃべりが止まりません!

最後は、保温調理で作った懐かしい固めプリンと、25年度から注文開始したバイオサポ食材セットの帆立のチャウダーなどを試食。新聞紙とバスタオルで包むだけでしっかり固まったプリンや具沢山のチャウダーが好評で、お気に入り消費材の話題も尽きず、和やかな時間となりました。(稲田理恵)

会田共同養鶏組合(鶏卵)

上村さん
自前の飼料工場を持っている。米不足の影響で飼料用米は減っているが、国産飼料用トウモロコシを使っている。飼料の自給率を上げていく。



黒富士農場(鶏卵)
向山さん



JA熊本経済連
谷川さん



淵上牧場(和牛)
工藤さん



生活クラブ関西・ミート
槌谷さん



ウイナークラブ
岡崎さん



オンドン農協(鶏肉)
嵐さん



王隠堂農園(梅干しなど)
辻田さん



コーヒー焙煎ワーカーズ
能井田さん



オルター・トレード・ジャパン
(バナナ、エコシュリンプなど) 黒岩さん

和平合意後も厳しい状況が続いている。オリーブの木を燃やす、暴力で収穫作業を妨害するなど、ヨルダン川西岸地区でのイスラエル人入植者による行為に加え、5月の雨不足が重なりオリーブの収量が減少。生産者は自分の土地を守るためリスクを負って畑に行く。オリーブオイルの利用が生産者を支えるので利用してほしい。



米麦館タマヤ(パン)
清家さん



天満大阪昆布
喜多條さん



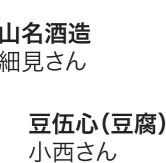
大矢商店(こんにやく)
大矢さん



伊賀越(醤油など)
本城さん



山名酒造
細見さん



豆伍心(豆腐)
小西さん



丸菱製麺
富江さん



丸菱製麺
富江さん

最後に

生産者が作ったものを私たち組合員は食べていく利用していく。これがないと先はない。生産者に「作ってください」というのは「私たちは食べ続けますよ」と言っているということ。利用することが、日本の農業や加工現場を未来につなげていくことになる。(理事長 清水啓子)

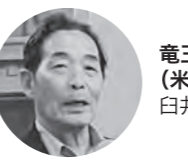


米沢郷牧場
ファーマーズ・クラブ赤とんぼ(米)
北澤さん

昨年は水不足と猛暑が原因で米の収穫量が減った。今年はずりやることをしっかりやる。堆肥づくり(近所の畜産農家と一緒に始めた)、土づくり、塩水選など一つひとつ丁寧に作業して、秋にはいい収穫を迎えられるよう取り組む。

ピュアライス久比岐野(米) 峯村さん

暑い夏を乗り切るため、「江立て」という田んぼの溝切りをして大切な用水を流している。このキツイ仕事が欠かせない。



竜王町稲作経営者研究会(米)
白井さん

広報委員が
お話を聞きました!

茨城ビーエム
清水裕一さん



「除草剤や農薬を使わない生産物を組合員に届けるという使命感を持っている、大事にしていきたい」「人間の腸内環境と土の中というのは同じで、いかに細菌微生物をコントロールできるか」とスピーチしていた清水さん。対面でも「土づくり」と「BMW(バクテリア・ミネラル・ウォーター)技術」の話で盛り上がりました。

「BMWは非常に優れた技術。気候変動という環境下でも収量を上げられる」と若い生産者や学者を巻き込んで研鑽を積んでいると言います。「食糧が足りなくなったらすぐ輸入、ではだめ。国内や地域で循環させることを考えなくては」という思いに、大いに共感しました。



・生産者(産地)と組合員の生活が消費材を通してつながっていると実感した。
・「冬は暖房で重油を使いミニトマトを作っていて、情勢が不安定な中東のエネルギーに依存している。重油がないとミニトマトを作れない」という生産者の話を聞き、世界で起きていることを自分事として感じた。



生産者と組合員がテーブルを囲みます。



山本農園(梅干し、野菜)
山本さん

みなさんからいただいた支援カンパ金がとてもうれしかった。地域の後進の育成にも役立てたい。

広報委員が
お話を聞きました!

菜食ファーム
仲野忠史さん



「軟弱(葉物)野菜はもうかる」という言葉に少し驚きましたが、それで後継者が育ちやすい、と聞いてなるほど、と。

一番のこだわりは有機100%肥料とのこと。有機栽培においてハウス栽培と露地栽培の特長は? と聞くと、「ハウスは虫害に強いが病気にやや弱い。露地はその逆。適度に雨にあてることで病気が防げる」と話してくれました。そのため、状況に合わせてハウスの屋根を開けて雨にあてることもあるとか。意外でした。

仲野さんは、主にハウス栽培で、夏季の露地栽培が中心になる時期にハウスの土を日光消毒して病気に強い土を作ります。「雨にあてる」とか「日光消毒」とか、ハウス栽培でも自然の力は偉大で、必要なものなのだと感心させられました。



産直南島原
林田さん



肥後あゆみの会
守屋さん

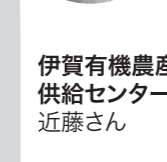


西日本ファーマーズ
ユニオン無茶々園(柑橘)
平野さん

やまなし自然塾(桃)
相川さん



AgriGRAND
谷川さん



伊賀有機農産
供給センター
近藤さん



島原自然塾
酒井さん



夢産地とさやま開発公社
大崎さん



肥後れんこんの里
桐木さん



氷川アグリクラブ
(ミニトマト)
宮崎さん



第22回 産直春のつどい

1ページの続き

始めに各生産者より最近の産地の状況、生産において大事にしていることや様々な課題など、つどいならではの話を聞くことができました。その後テーブルごとに生産者・組合員・職員が率直な思いで意見交換しました。



広報委員が
お話を聞きました!

愛菜会
渋谷晃郎さん



昨年11月の野菜取り組み共通化で「多く出荷できるようになった。圃場が早く空き回転率も上がる。野菜の一番いい状態の時にどんと出せる」とのこと。ただ最初はどややって野菜を納入するかという物流面での課題があったそうです。組合員に届く野菜も増え共通化のメリットを感じると共に、届けるための生産者の努力を知りました。

ハウス栽培はトマトや水菜などきれいに仕上がるが、暑さでトマトは焼けてしまうので梅雨明け頃から直射日光を避けるシートで対策するそうです。「野菜はね、一番おいしいところは虫が食べて次に鳥や獣、人間は三番目か四番目」「夏野菜、楽しみにしてて」と渋谷さん。大切に育てられた夏野菜が待ち遠しいです。

泉州 植田さん(玉ねぎ)

別の仕事をしている友達二人に手伝ってもらっていて、できたら玉ねぎ作りを一緒にやってほしいなと思っている。



水の子会 上村さん

「将来の夢は農業」と言う息子が大きくなった時にもちゃんと夢と希望があるよう農業経営をしたい。生協の産直の取り組みが日本全体に広がっていけば農業者が安心して生産できると思う。



白州森と水の里センター
高草木さん



私たち組合員のために作られた消費材をこれからもずっと食べ続けられるように、消費材のことを知ってもっと利用しよう・みんなであたべよう!

ポークウインナー

自分の子どもに食べさせられる「安心安全な」ウインナーを



■組合員に伝えたいこと
市販にはなかなかないウインナーですが、組合員は手に取りやすい環境に

■添加物不使用のウインナーづくりで苦労することは？
私たちは添加物を使わない作り方が当たり前になっているので、特にはないです。

■一般的なウインナーとの一番の違いは？
消費材のウインナーは添加物を一切使っていないことです。一般的なウインナーの多くは、添加物の塊と言われることもあるほど多くの添加物が使われそれが当たり前ですが…

3月2日 産直春のついでにウインナークラブの岡崎さんに聞きました!

一般的なウインナーと違うところ、市販品と比べてどういうところが違うのか見てほしいですね。

添加物を使っていると解凍時に水分が抜けてポソポソになるので一般には冷蔵です。消費材のウインナーは添加物不使用なので冷凍できて使い勝手がよいです。味に関しては添加物にしか出せない味があるので、一般的なウインナーに慣れている方からすると、味に違和感をもつことがあるかもしれないですね。

ただ、自分の子どもに食べさせる時にどうなのか、と考えてもらいたい。火を通したら肉つて本来どうなる? (茶色くなつて縮む)、なんでこれは赤いままなのか? (発色剤のおかげ)、パリッとした食感(リン酸塩の効果)のこともそうです。ちょっと考えてみてほしいです。添加物のことに気付きつかけるといいですね。

CO2排出総量 45%削減をめざして



～平野支所、CO2内部監査を実施しました～

2/19

平野支所

監査者
理事3人
地区委員1人
自然エネルギー委員1人

被監査者
支所長
理事長

生活クラブでは、「持続可能な生産と消費の推進」の原則に基づき、生協事業における温室効果ガス排出の削減に取り組み、2050年のCO2排出総量を限りなくゼロにすることをめざして、2030年のCO2排出総量を45% (2013年比) 削減することを目標としています。目標達成に向け、組合員が生協施設を訪れ「CO2削減行動基準」に基づく取り組み状況を確認する「CO2内部監査」を平野支所対象に実施しました。



平野支所

太陽光発電設備を設置している支所の建物

《監査で確認した支所の取り組み》

- 事務所の間引き照明を実施。個別スイッチの色分け表示により必要箇所だけの点灯を徹底している。
- コピーの際の裏紙活用、ミスコピー防止のための設定リセットの表示により紙の使用量を減らす工夫をしている。
- 回収したRびんや牛乳キャップ等をきちんと整理・保管している。
- ドライブレコーダーの映像や燃費計測のデータを職員にフィードバックし、CO2削減への意識を高めている。
- 太陽光発電設備の導入 (全量を生活クラブエナジーに売電)、生活クラブでんきの使用。



間引き照明



牛乳キャップはごみ袋にリサイクル

《支所監査を終えて》

- 点検項目に照らして改善の要望を伝え、さらなるCO2削減に向け取り組むことを確認しました。
- 平野支所でもRびん以外のびんを返却する組合員がいて、業務の負担になっていたことがわかりました。グリーンシステムについてもっと組合員への周知が必要だと思いました。

など、CO2削減に向けて地道な取り組みを行っていることが確認できました。



昨年からの料理酒のびんもリユースに。グリーンシステムがさらに進化しました。

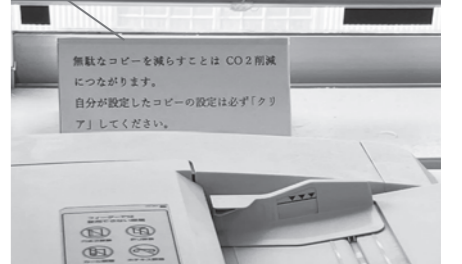


きちんと整理・保管された900mlびん。ラベルは無理にはがさなくても大丈夫。まずは返却を!



スイッチ横の張り紙

無駄なコピーを減らすため、自分の設定したコピー設定は必ずクリアすること、と書いてあります。

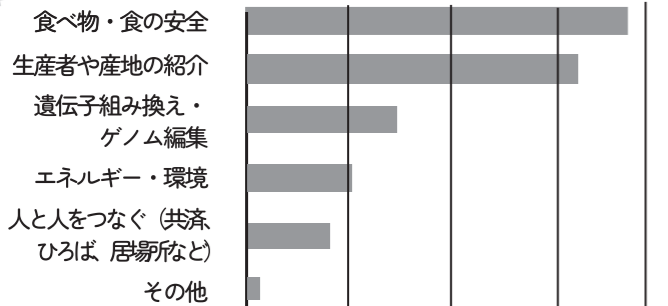


2026年 お年玉プレゼントクイズ・アンケート結果発表

今年も広報委員会アンケートに多くの方から回答いただきありがとうございます。今後わかりやすく楽しめる紙面を通して、組合員活動や生活クラブ運動を伝えていきます。

回答数677件

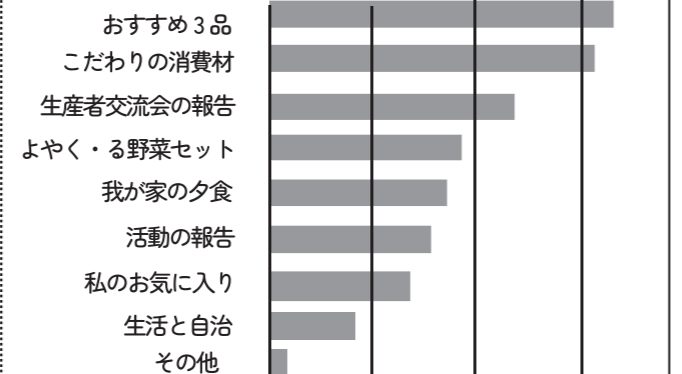
●今後取り上げてほしいテーマは?



※「遺伝子組み換え・ゲノム編集」「人と人をつなぐ」のテーマ記事を希望する数が、昨年比で増えています。

●その他 ※フェスタカラーチラシを多くの方が見てくれているのわかりました。Instagramの閲覧も少しずつ増えていて、フェスタの参加者増につなげたいです。

●お気に入りの記事は?



※毎月掲載してきた野菜セットのコーナーが関心を持って読まれていることがわかりました。

《監査メンバーの感想》



平野支所エリアは都市部での走行が多く燃費が悪くなりがち。でも運転の仕方によって燃費の向上が見込めるそうです。データを用いて職員全体で取り組んでいることに頼もしさを感じました。

Rびん以外のびんを返す組合員がいると聞きました。そのことで業務に負担をかけないよう、組合員自身がきちんと分別して、Rびん以外は自治体などの資源回収に出すように呼びかけたいと思います。

支所の中で、CO2削減をみんなが意識できるような環境作りに取り組んでいるからこそ、一人ひとりの細やかな意識と行動に繋がっていただくと感じました。

CO2削減に向けた取り組みは、本当に地道な行動の積み重ねであり「みんなで」実行することが大切だと改めて感じました。



入学祝い申請についてのお知らせ

エコッコ共済入学お祝いは、2026年4月に小学校入学のお子さんがあるエコッコ共済加入組合員が対象です。

(祖父母は申請できません)

申請される方は 4/7、4/14～週配布の申請書を 5/29(金)までに提出してください。

※締め切り後の申請は受け付けられません。

入学祝い申請と同時にエコッコ共済に加入することもできます。この機会に加入してたすけあいの輪に入りませんか？

★エコッコ共済の申請は、消費材を継続的に利用している組合員に限ります。エコッコ共済に加入しているかどうか不明な場合は、消費材請求書をご確認ください。

加入者にはエコッコ金 100円と記載されています。

エコッコ事務局への問合せや相談は

☎/FAX 072-641-5811



不在の場合は留守番電話に組合員コードと名前を入れるか、Fax でご用件をお送りください。折り返し連絡します。

エコッコ共済
WEBページ



第46回

生活クラブ生協フェスタ

9月20日(日) 10:00~14:00

大阪市花博記念公園鶴見緑地
ハナミズキホール・屋外附属展示場

託児スタッフ募集しています

生活クラブ生協大阪には、小さいお子さんがいる組合員が地区の企画などに安心して参加できるように託児システムがあります。託児活動に協力いただける方は、ご連絡ください。

【問い合わせ先】組織運営課 072-641-5561

★とも育ちとは「子ども・保護者・関わる大人たち」それぞれが学び合い、ともに成長しあう生活クラブ生協大阪の子育て支援方針の理念です。



つぶやき

今年60代最後の年となる。昨年より体の不調が続いている。目が二重に見える、膝が痛い、胃がなるとなく…、ついに今年には耳鳴り。「すわ！ 病気か」と病院に行くと、ほほ老化が原因。医師も「経過観察」で終了する。

若い頃は「なぜ老化を受け入れられないの？」と親を見ていたが自分になるとよくわかる。「え！ 老化？ 私が！」毎日が初体験、老化の初体験にまだ慣れてない。これからどうなるのだろうか？ 不安もあるが楽しみたい。ポチポチいこか。



私が生活クラブの組合員になったのは体調を崩したことがきっかけでした。食から始まり、今では環境や身につけるものにも関心が広がり、なるべくナチュラルなものを心がけています。考え方や捉え方にも変化が出てきています。そんな最近の私が大切にしている言葉は「足るを知る」。20~30代は着飾ることに一生懸命だったけれど、今は軽やかにシンプルに生きたいと



ティータイム Tea Time

「軽やかに生きる練習」

感じています。まだ迷うことも多いけれど、その過程も楽しみながら自分のペースで進んでいこうと思います。

皆さんも大切にしている何か、意識している何かはありますか？

(淀川地区 郡司圭子)

生活と自治

2026年3月号

ネット世代の政治と選挙

民主主義の筋力を鍛える

「他者への想像力を育む」という見出しが印象に残った。子どものスマートフォンの使い方に口を出すよりも、「社会には色々な人がいる」ことを肌で感じさせる方が大切ではないか、そう考えていた矢先に目にしたからだろうか。さまざまな人に接し、多様な生き方に触れる機会を若い人には持ってほしい。リアルな体験が一番だが、映画鑑賞でも読書でもいい。その積み重ねが、ネットの情報を鵜呑みにしない「民主主義の筋力」になると思う。

(成田三井が丘地区 石田明子)

一人ひとりの購読料(100円)で成り立っています。

理事会報告

- 3月23日 大淀コミュニティセンター
- 25年度活動報告、26年度活動方針案の提案・討議
- ピオサポ講座活動計画を決定
- Step UP点検活動計画を決定
- 26年度エコッコ共済連携福祉団体活動助成金を決定
- 安全対策を学ぶ講習会活動計画を決定
- 26年度託児スタッフ研修活動計画を決定
- 平野支所CO2内部監査報告を確認
- 冬のキャンペーン最終報告
目標678件に対し実績375件
(達成率55.4%)
- 春の紹介キャンペーン中間報告を確認

《3月度実績報告》

(2/21~3/20)	◎供給高 312,441千円 (計画比 99.2%)
◎組合員数 20,098人 (3/20 現在)	(前年比 102.9%)
加入 127人	◎一人当たり利用高 15,540円
脱退 139人	(前年比 102.2%)